

令和4年度 河川水辺の国勢調査で確認された 猪名川・藻川の魚たち

令和4年度の河川水辺の国勢調査で確認された魚類のうち、猪名川に多く生息するもの、重要種や外来種などを紹介します。
その他にも、アカエイ、カワムツ、イトモロコ、ギギ、カムルチーなどの15種が確認されました。



河川水辺の国勢調査とは…

河川を環境という視点から捉え自然環境に関する基礎情報の収集整備を図る目的で、生物調査は「魚類調査」「底生動物調査」「植物調査」「鳥類調査」「両生類・爬虫類・哺乳類調査」「陸上昆虫類等調査」の6項目が実施されています。

河川水辺の国勢調査における魚類確認種数



猪名川・藻川で実施された近年の河川水辺の国勢調査では、45～46種の魚類が確認されています。

汽水域



神崎川に合流する河口付近は河川の淡水と海水が混合する汽水域となっています。海に生息する魚類も出現する特徴的な環境です。

淡水域



猪名川の中下流域は都市河川ですが、瀬や淵、ワンドなどの多様な環境があり、多くの淡水性の魚類が生息しています。

ニホンウナギ ウナギ目ウナギ科

重

成魚は沿岸部から河川上流域に幅広く生息する。回遊魚であるが淡水域に遡上しない個体もいる。甲殻類、魚類などを幅広く餌にする動物食性。

ボラ ボラ目ボラ科

幼魚などは汽水域、河川にも来遊し、そこで成長する。主に附着藻類やデトリタス（水中にある生物由来の微細粒子）を餌にする。

メナダ ボラ目ボラ科

内湾や潟湖に生息する。幼魚は春から秋にかけて河川汽水域に侵入する。

コイ (飼育型) コイ目コイ科

古くから移植が盛んでほぼ全国に分布する。育種目標により様々な改良されている。雑食性である。

ギンブナ コイ目コイ科

溪流域を除くほとんどの淡水環境に生息する。農業水路やため池などの小水域に多い。雑食性である。

ヤリタナゴ コイ目コイ科

重

河川中・下流域、平野部の細流、農業水路などのやや流れのあるところを好む。雑食性で附着藻類や小型の底生動物を餌にする。

スズキ スズキ目スズキ科

成長に伴い生息場所を変えることが知られている。幼魚などは淡水域にも侵入する。肉食魚で小型甲殻類や小魚を餌にする。

キチヌ スズキ目タイ科

幼魚はしばしば汽水域から淡水域まで侵入する。甲殻類、ゴカイ類、軟体動物、海藻、小魚など幅広い食性を示す雑食性。

シマイサキ スズキ目シマイサキ科

内湾から河口域にかけての汽水域に多く、幼魚は河川の淡水域まで遡上する。小型の甲殻類、多毛類、小魚などを食べる動物食性。

オイカワ コイ目コイ科

平野部を流れる河川の中・下流域とそれに続く水路、きれいな湖沼に生息する。附着藻類を中心とする雑食性である。

モツゴ コイ目コイ科

河川の中・下流域、湖や池沼、農業水路、ため池などに生息する。富栄養化に強く、泥が堆積した水路やため池でも生息できる。

タモロコ コイ目コイ科

重

河川の中・下流域、湖や池沼、農業水路、ため池などの流れの緩やかな水域に生息する。名のとおり水田地帯の農業水路に多い。雑食性である。

マハゼ スズキ目ハゼ科

河口や内湾の砂泥底に生息する。河川の淡水域にも侵入する。ゴカイや甲殻類を主な餌にするが、小魚や藻類も餌にする。

アベハゼ スズキ目ハゼ科

河川の河口域に生息する。岸寄りの軟泥底の穴の中、石やカキ殻の間などにみられる。雑食性である。

カマツカ コイ目コイ科

重

湖沼の沿岸域や河川の中下流域、農業水路などに生息する。底生動物を好んで食べる雑食性である。

コウライモロコ コイ目コイ科

重

河川の中・下流域とそれに続く水路に生息する。流れの緩やかな砂底や砂礫底を好む。雑食性である。

オオシマドジョウ コイ目ドジョウ科

重

河川の中流域の砂底もしくは砂礫底に生息する。砂中の小動物やデトリタス（水中にある生物由来の微細粒子）を餌にする。

チュウガタスジマドジョウ コイ目ドジョウ科

重

河川中・下流域の本流や農業水路の流れの緩やかな水域に生息する。

チチブ スズキ目ハゼ科

主に内湾や河川の河口域に生息するが、淡水域にも出現することもある。雑食性で附着藻類や小型の底生動物などを餌にする。

ヒナハゼ スズキ目ハゼ科

河川の下流域や河口域などに生息する。水が淀み、底に枯れ葉が堆積したところや草の下に多くみられる。

ナマズ ナマズ目ナマズ科

重

主に河川に生息するが、繁殖期である初夏には水田、氾濫原、ワンドなどの小規模水域に遡上する。魚類、両生類などを捕食する動物食性。

アユ サケ目アユ科

重

河川の上・中流域や湖・ダム湖に生息する。河川と海（または湖・ダム湖）を行き来する回遊魚。河川に遡上すると附着藻類食性となる。

カダヤシ カダヤシ目カダヤシ科

外

平野部の水路、クレークや小河川、池沼のほか、河川のワンドにも生息する。原産地は北アメリカ大陸のミシシッピ川からメキシコ北部。

ミナミメダカ ダツ目メダカ科

重

平野部の河川、池沼、水田、農業水路などの流れの緩やかな、水生植物が豊かな場所に生息する。雑食性である。

ウロハゼ スズキ目ハゼ科

河口域や汽水湖に生息し、淡水域まで侵入することは少ない。動物食性で魚食性が強い。

ウキゴリ スズキ目ハゼ科

重

河川の汽水域から中流域に生息し、流れの緩やかな場所に多い。動物食性で水生昆虫、甲殻類、魚類の仔稚魚などを餌にする。

ブルーギル スズキ目サンフィッシュ科

外

河川下流域から湖沼・ため池などの止水域に生息する。雑食性で藻類、甲殻類、魚卵、仔稚魚などを餌にする。

オオクチバス スズキ目サンフィッシュ科

外

河川下流域から湖沼・ため池などに生息する。強健な肉食性で主に魚類や甲殻類を餌にする。

ドンコ スズキ目ドンコ科

重

河川中流域の淵やワンド、用水路や池など、流れの緩やかな場所に生息する。甲殻類、小魚、水生昆虫などを活発に捕食する。

カワヨシノボリ スズキ目ハゼ科

河川の上・中流域の流れが緩やかな場所に生息する。雑食性で附着藻類や小動物を餌にする。

重 環境省、兵庫県、大阪府などが選定した絶滅のおそれのある魚類
外 国外から持ち込まれた魚類

※目名、科名、和名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(22/11/7)」に従っています。
※魚類の説明は主に「山溪ハンディ図鑑 15 増補改訂 日本の淡水魚」を参考にしています。